

支部紹介

平成29年、区制90周年を迎えます。JRと京浜急行が通り、国道1号線に15号線と幹線道路が縦断し、首都高速横浜線が眼上にそびえています。東京へ行くにも横浜へ行くにも交通の便は最高の地です。大黒埠頭からベイブリッジを渡れば本牧へも数分ですから磯子区や金沢区も隣接してる感覚です。江戸時代には参勤交代で各藩のお殿様が通過した地なので、文久2年(1862)8月に生麦事件が起こり、幕府は多大な損害賠償金をイギリスに支払いました。その時の碑が建っており、日曜など旧東海道ウォーキングの方々が立ち寄っています。大本山総持寺には石原裕次郎の墓があり供え花が絶えないようです。ぜひ、鶴見へお立ち寄りください。

支部沿革

昭和29年頃に初代組合長らが地域の同志に呼びかけ鶴見板金加工組合として創立。昭和41年、労災保険事務組合としての許可を受ける。昭和42年、神奈川県板金工業組合の創立に伴い加入。平成に入り組合員の高齢化が進み、後継者不足で組合員減少が難題となっています。13代目組合長、塩田力氏が平成16年に黄綬褒章を受賞された事を励みとして現在9名の組合員一丸となり、歴史ある組合を守っていく所存です。御指導、御鞭撻のほど、宜しくお願いします。

歴代支部長

- 初代 小泉 熊吉 (昭和29年～30年)
- 2代 吉田庄次郎 (昭和31年～32年)
- 3代 磯ヶ谷幾造 (昭和33年～34年)
- 4代 長澤彦太郎 (昭和35年～36年)
- 5代 平山 収 (昭和37年～38年)
- 6代 関根与四郎 (昭和39年～40年)
- 7代 辻永 太郎 (昭和41年～44年)
- 8代 池田 次郎 (昭和45年～46年)
- 9代 宮澤 清 (昭和47年～52年)
- 10代 塩田 力 (昭和53年～60年)
- 11代 古塩 博 (昭和61年～平成元年)
- 12代 野沢 広海 (平成2年～3年)
- 13代 塩田 力 (平成4年～13年)
- 14代 齋藤 真人 (平成14年～現在)

支部活動

- 定例会 毎月
- 労災保険事務 毎月
- 総会及び新年会 1月
- 木建協パトロール 年6回

